

【資料2】 大田区の環境（案）～令和2年度大田区環境基本計画に基づく実績報告の要点～

	取組の方向性	個別施策	事業概要	令和2年度実績(新たな取組)
基本目標 A 環境と産業の調和の実現と好循環の創出	A-5 産業分野の取組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備	(1)事業者・行政の連携強化 (2)事業者・行政の連携強化	産業分野の取組みの推進エンジンとなる産官の連携体制を整備し、事業者と行政が一体となって取組みを進めます。	【おおたクールアクション推進連絡会の設立】 ○「低炭素社会の実現」をめざし、新たにスタートした区民運動「おおたクールアクション」の賛同団体が運動の推進組織となる任意団体を設立しました。 ・任意団体名 おおたクールアクション推進連絡会 ・設立年月日 令和2年8月7日 ・賛同団体数 85団体(3月31日現在)
基本目標 B 快適で安全な暮らしの実現	B-3 美しい都市環境の創造	(1)景観・美観に配慮したまちづくり (2)歩きタバコ・路上喫煙対策	区民の生活環境の向上を図ることを目的に、公共の場における歩行(自転車等運転中を含む)喫煙及び吸い殻等のポイ捨てを防止するための区民意識の啓発等総合的な施策の推進並びに、喫煙マナーに関わる問題について必要な措置を講じます。	【公衆喫煙所の整備及び運用】 ○令和2年度は、大森駅東口の公衆喫煙所をコンテナ型に改修したほか、新たに3か所(雑色、大岡山、六郷土手)の公衆喫煙所を設置し、令和3年3月から供用開始しました。 ○「大田区公衆喫煙所設置等助成要綱」に基づき、民間公衆喫煙所1か所の整備費用を助成しました。
基本目標 C 低炭素社会の構築	C-3 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大	(1)区有施設への積極導入①区有施設への再生可能エネルギー設備等の導入、エネルギーの効率化・最適化設備の利用促進	区有施設の建設等の際には、再生可能エネルギーや高効率の設備の導入など環境配慮型の施設を検討します。 また、導入したシステムを活用し、平常時の電力ピークカット等、エネルギーの効率的な活用を図り、温室効果ガスの削減を図ります。	○大森第七中学校改築その他工事で太陽光発電設備10kw(屋上パネル)を設置しました。 ○大田区多摩川清掃事務所新築工事で太陽光発電設備10kw(屋上パネル)を設置しました。 【環境性の高い電力の導入】 ○電力の環境性向上を目的に再生可能エネルギー100%の電気を導入しました。 ・区役所本庁舎 令和2年10月から ・蒲田清掃事務所(新庁舎) 令和2年7月から ○児童・生徒の環境意識の向上と電力の環境性向上を目的に、23区の清掃工場の未利用熱を利用して発電した電力の導入を拡大しました。 ・全区立学校、大森清掃事務所、調布清掃事務所 10月から ○全区立小学校の4～6年生にリーフレット「学校で使用する電力の環境性」を配布しました。
	C-4 地球温暖化対策を促すための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備	(1)区民等・事業者・行政の連携強化 ①区民運動「おおたクールアクション」の推進	区民・団体・事業者・区が連携・協力して地球温暖化対策を実践する区民運動「おおたクールアクション」を推進します。区民一人ひとりが省エネ・3R・グリーン購入を実践する「低炭素ライフスタイル」への転換をめざします。また、運動に賛同した団体・事業者による取組みの共有・発信を通じて、区内全体に活動の輪を広げていきます。	【おおたクールアクション推進連絡会の活動実績】 ○活動に必要な各種会議を開催しました。 ・設立準備会 1回 ・幹事会 2回 ・総会 1回 ○賛同団体のレベルアップを目的に「おおたクールアクションのつどい」を開催しました。 ・2月4日(木) 区役所本庁舎 第五・六委員会室 ・参加者等 35団体135人(うちオンライン視聴100人) ・基調講演「SDGsで自分を変える未来が変わる」 博報堂DYホールディングス CSR担当部長 神奈川県顧問(SDGs推進担当)川廷 昌弘氏 ○区民に向けた普及啓発活動を目的に区民運動「おおたクールアクション」のポスターを賛同団体の事業所や区施設に掲出しました。

【資料2】 大田区の環境（案）～令和2年度大田区環境基本計画に基づく実績報告の要点～

	取組の方向性	個別施策	事業概要	令和2年度実績(新たな取組)
基本目標D 自然共生 社会の構 築	D-3 水とネットワーク の構築	(3)身近な緑の 確保 ①貴重な緑の 保全	大規模公園・緑地や河川、海 浜などの自然地や桜の名所 などを保全・再生し、後世に 引き継いでいきます。また、 民有地内の樹林・樹木や区 内にわずかに残されている貴 重な農地の保全を進めます。	【樹木・樹林の保護】 ○保護樹木等の指定状況、制度の周知 ・保護樹木 1,065本 保護樹林 88か所 保護つる性樹木 1か所 保護生垣 7か所 (3月31日現在) ・区報、区ホームページへの事業内容の掲載や、窓口でのパンフレット配布により、制度の周知をしました。
基本目標E 循環型社 会構築	E-1 ごみを出さない 生活への転換	(1)発生抑制、 再使用の生活 様式の促進 ①生ごみの減 量やごみを出さ ない生活様式 への転換	循環型社会の構築のため、 3R(リデュース・リユース・リサ イクル)推進、食品ロスを少な くするためのPRIにより、さらに 区民一人ひとりが生ごみの 減量やごみを出さない生活 様式への転換が図れるよう 啓発を進めます。	○「身近なことからはじめる食品ロス削減」をテーマにした区民向け講習会の実施に代え、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から食品ロス削減に係る動画を制作し、大田区公式Youtubeチャンネルにて公開しました。 ・動画「冷蔵庫整理と食品ロス削減」(公開開始日:令和2年9月29日、視聴回数514回(3月31日時点))
基本目標F 持続可能 な地域づく りのための 学習と参 加の場の 創出	F-1 環境マインドを 持つ人材の育 成	(2)環境学習・ 環境教育の推 進 ②環境保全意 識の啓発	幼児から大人までの幅広い 世代を対象にして、地球温暖 化対策、自然や緑の分野を はじめ、循環型社会等につい て、パネル展示やイベント開 催等を通じて、環境保全意識 の啓発を行います。	【エコフェスタワンダーランド】 ○子どもを主に、広く区民の環境意識の高揚を図ることを目的として、「地域から考える地球の未来」をテーマに、区民・事業者・区が協働して開催するエコフェスタワンダーランドについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。 これに代わり、コロナ禍でも自宅で環境学習できるツールの一つとして、環境啓発動画「アニメで開設！5分で分かる環境問題～みんなで守ろう地球の未来～」を大田区公式YouTubeチャンネルで公開しました。 ・公開日:3月10日、視聴回数763回(令和3年3月31日時点) ○JALリモート工場見学とそらエコ教室 令和3年3月13日(土) オンライン開催 講師 日本航空(株)副操縦士 渡邊 翔太郎 氏 同時視聴者数692人 【大田区地球温暖化防止アンバサダー】 ○地球温暖化防止の機運醸成と区民運動「おおたクールアクション」の推進を目的に区出身の気象予報士である依田司氏を大田区地球温暖化防止アンバサダーに任命しました。 ・任命期間 令和2年6月1日～令和4年5月31日(2年間) 【啓発用リーフレット等の作成・配付ハンドブッグの作成】 ○「はねびよんの省エネハンドブッグ」を区施設やおおたクールアクションの賛同団体の店舗等で配布しました。 ○大田区地球温暖化防止アンバサダーの依田司氏が出演する区民運動「おおたクールアクション」のPR動画と実践ハンドブッグを作成しました。 ・PR動画「5分でわかる!区民運動『おおたクールアクション』」 ・リーフレット「おおたクールアクション実践ハンドブッグ」 ○子どもたちの環境意識の向上を目的に「はねびよんの地球にやさしい行動シール」を全区立小学校5年生に配付しました。